

部活動の地域連携・地域移行に関する 意識調査報告書

令和5年9月

福生市教育委員会

もくじ

第1章 生徒アンケート

- 1 調査の概要 1
- 2 部活動の所属状況 2
- 3 1週間の活動日数 4
- 4 休日の活動 6
- 5 活動日数・時間について 8
- 6 部活動に所属する最大の目的 . . . 10
- 7 部活動を行っていて良いと思う点 . 11
- 8 所属する顧問・指導者の指導 . . . 12
- 9 部活動以外に通っている
地域クラブ等 13
- 10 地域クラブの大会参加 14

第2章 教員アンケート

- 1 調査の概要 15
- 2 部活動の担当状況 16
- 設置部活動一覧 17
- 3 競技経験・専門知識 18
- 4 部活動指導の負担感 19
- 5 部活動地域連携・地域移行
賛成 or 反対 20
- 賛成意見・反対意見 21

資料

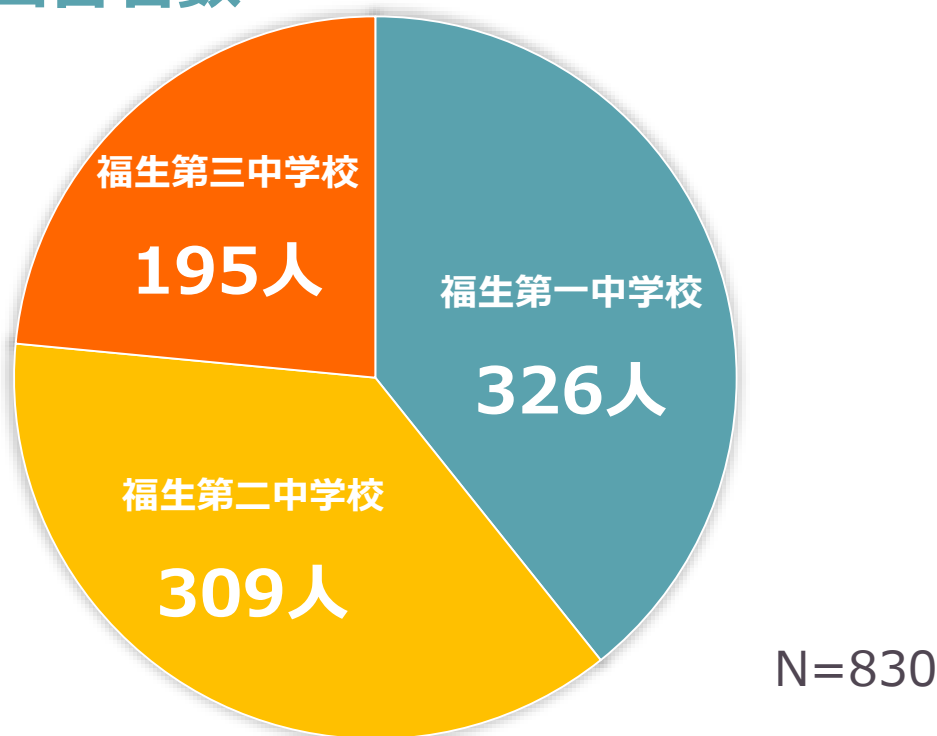
- 【生徒対象】調査項目 22
- 【教員対象】調査項目 25

1 調査の概要

実施時期 令和5年7月
 実施方法 WEBによるアンケート調査（質問紙法）
 実施対象 福生市立中学校 全生徒
 総回答数 830件（回収率75%）

※調査項目については22・23ページ参照

所属別回答者数



内訳) 学年別回答者数

単位：人

	第1学年	第2学年	第3学年
福生第一中学校	119 (77%)	107 (73%)	100 (62%)
福生第二中学校	123 (87%)	69 (56%)	117 (77%)
福生第三中学校	77 (94%)	63 (82%)	55 (86%)

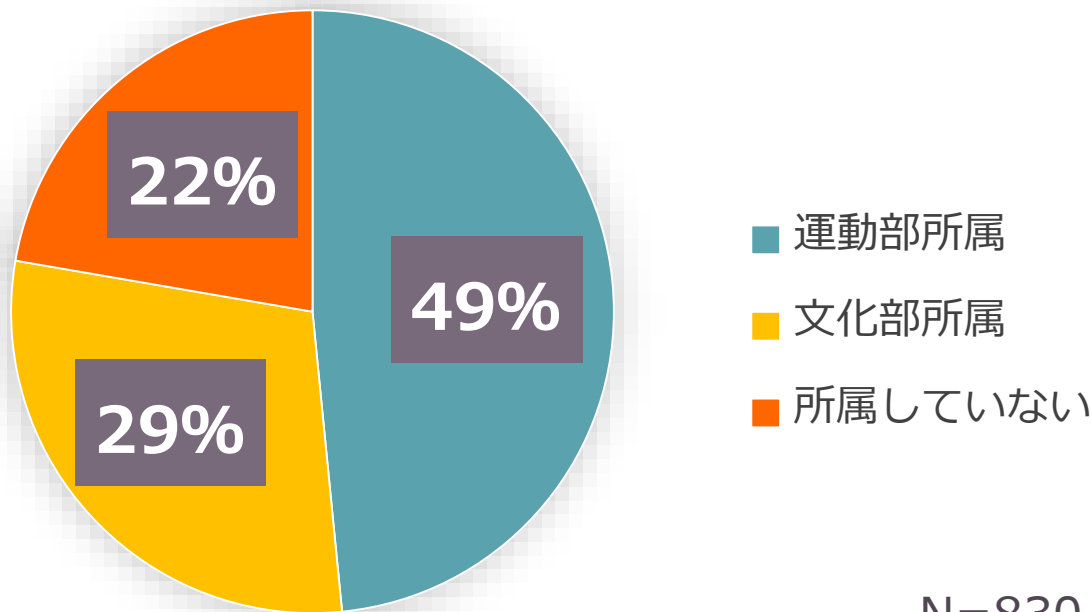
() 内の値：回収率

2

部活動の所属状況

- ▶ 運動部に所属している生徒の割合が高く、
回答者の約半数 が運動部に所属している。
- ▶ 回答者の学年別所属状況では、全体と比べて、第2学年生徒の運動部所属の割合が低く、部活動に所属していない生徒の割合が高い。

回答者の部活動所属状況



N=830

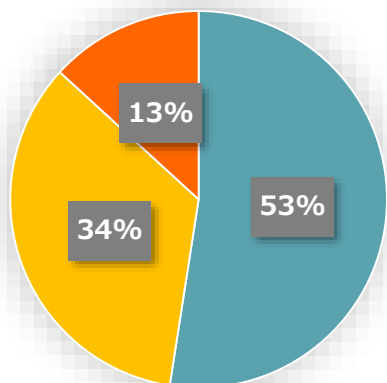
内訳) 回答者の学校別所属状況

単位：人

	運動部	文化部	無所属
福生第一中学校	171	112	43
福生第二中学校	120	91	98
福生第三中学校	111	40	44

学年別

第1学年



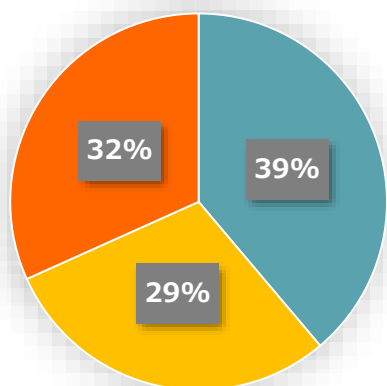
- 運動部所属
- 文化部所属
- 所属していない

内訳) 学校別所属状況

単位: 人

	運動部	文化部	無所属
福生第一中学校	54	47	18
福生第二中学校	47	42	34
福生第三中学校	48	13	16

第2学年



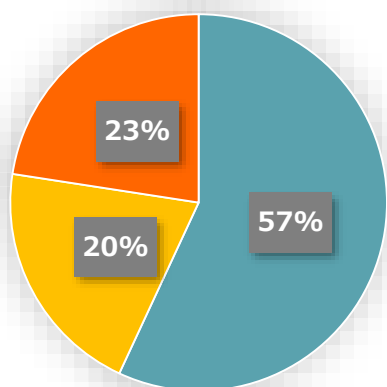
- 運動部所属
- 文化部所属
- 所属していない

内訳) 学校別所属状況

単位: 人

	運動部	文化部	無所属
福生第一中学校	59	27	21
福生第二中学校	28	20	21
福生第三中学校	35	16	12

第3学年



- 運動部所属
- 文化部所属
- 所属していない

内訳) 学校別所属状況

単位: 人

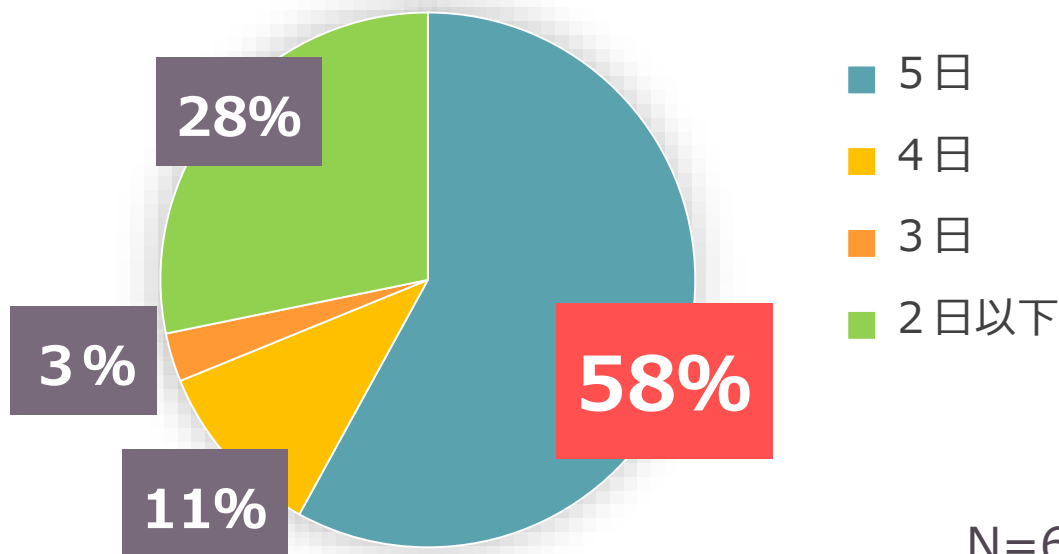
	運動部	文化部	無所属
福生第一中学校	58	38	4
福生第二中学校	45	29	43
福生第三中学校	28	11	16

3

1 週間の活動日数

- ▶ 1週間の活動日数（週休日も含む）では、「5日」と回答した生徒が **58%** で**最も多い**。
- ▶ 「5日」と回答した生徒は運動部に多く、「2日以下」と回答した生徒は文化部に多い。
運動部と文化部で傾向が異なる。

1 週間の活動日数



N=645

※部活動に所属する生徒の回答を集計

参考

休養日の設定基準

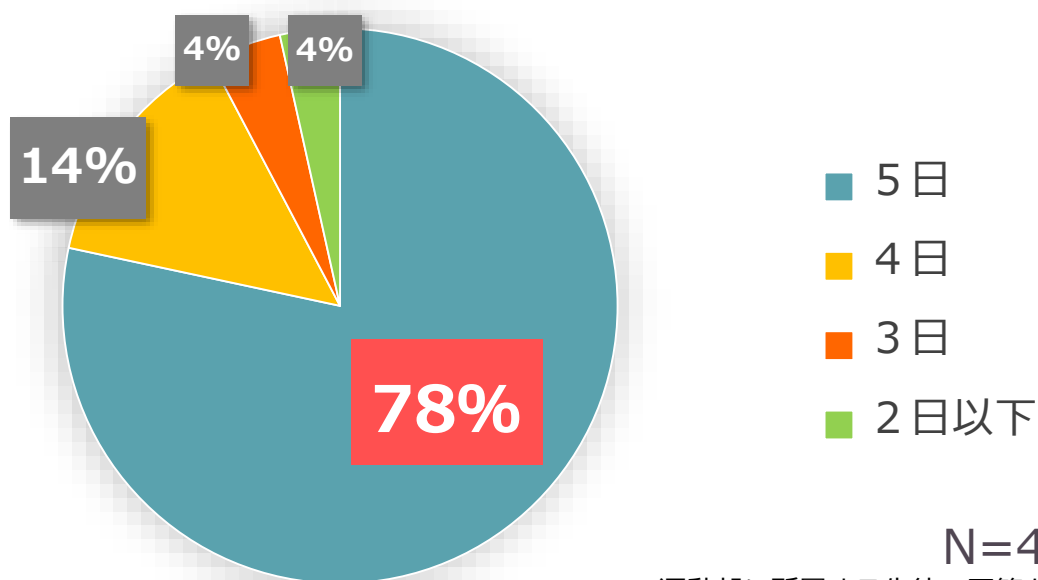
部活動の在り方に関する方針（平成31年4月1日 福生市教育委員会）

- 1 学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。
（平日では少なくとも1日、週休日は少なくとも1日を休養日とし、休養日が確保できなかった場合は、他の日に振り替える。）
- 2 長期休業中の休養日の設定についても、1に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。

運動部・文化部別

運動部

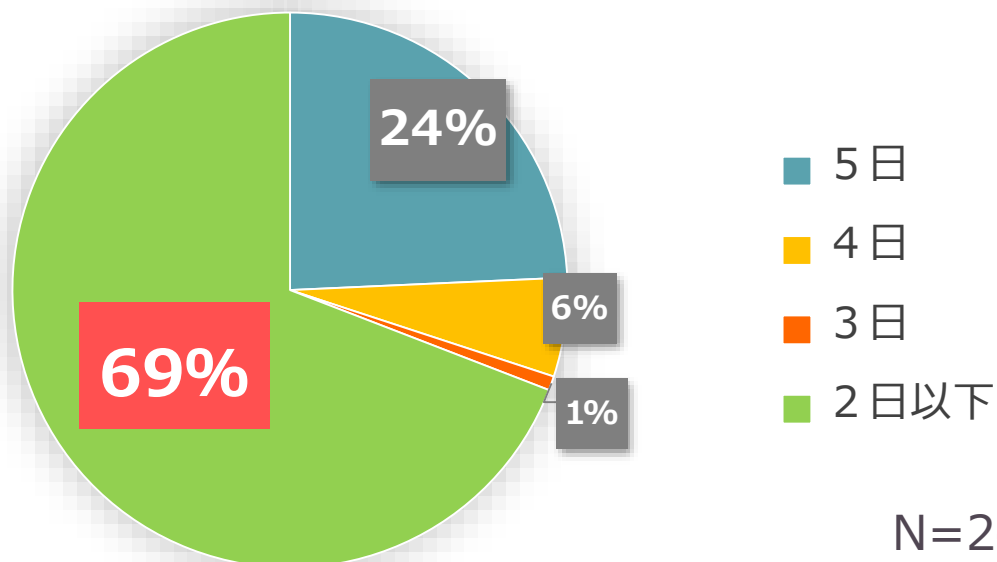
「5日」の回答が **78%** で**最も多い**。



※運動部に所属する生徒の回答を集計

文化部

「2日以下」の回答が **69%** で**最も多い**。



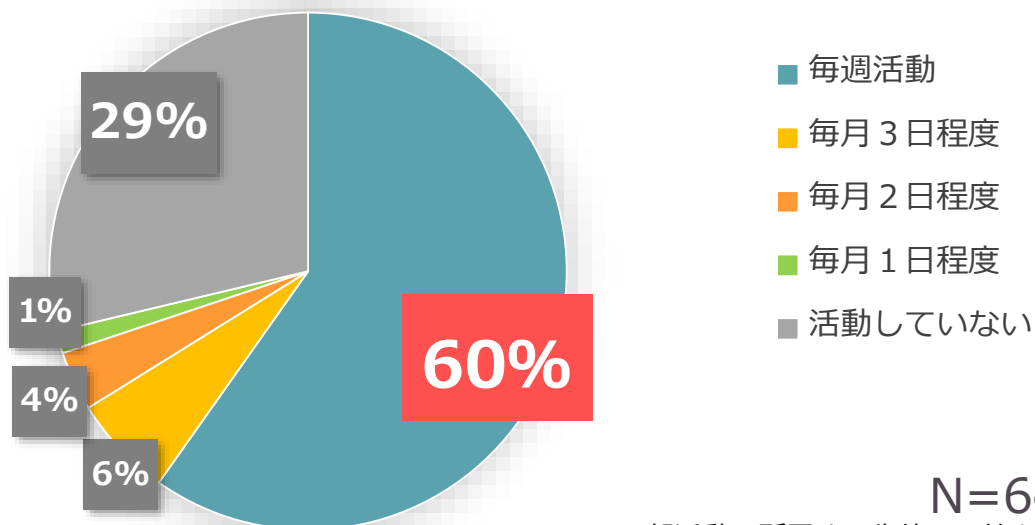
※文化部に所属する生徒の回答を集計

4

週休日の活動

- ▶ 週休日の活動では、
「毎週活動」と回答した生徒が**60%**で**最も多い**。
- ▶ 「毎週活動」と回答した生徒は運動部に多く、「活動していない」と回答した生徒は文化部に多い。
運動部と文化部で傾向が異なる。

週休日の活動状況



参考

週休日の活動を設定している部活動数

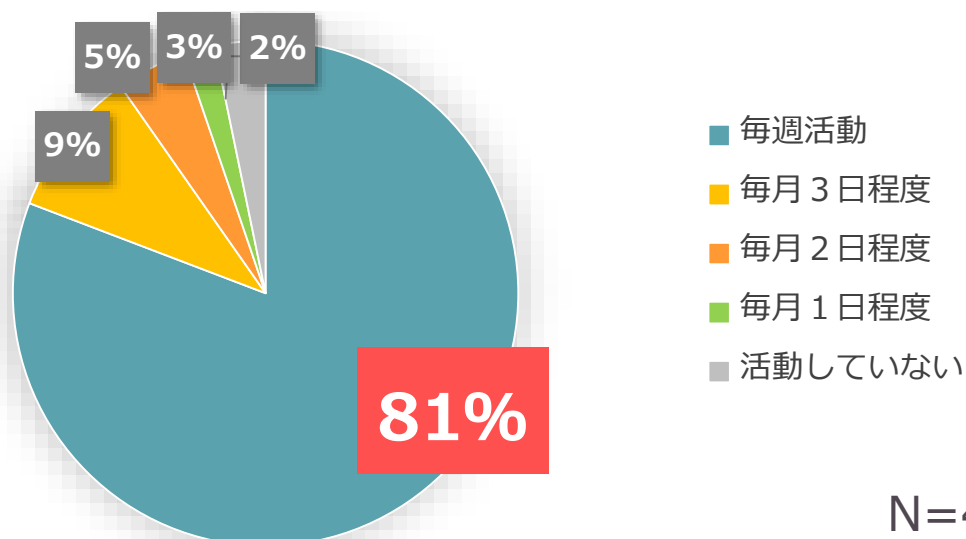
	運動部	文化部
福生第一中学校	10/11	1/5
福生第二中学校	8/8	1/5
福生第三中学校	6/6	1/2

「令和5年度 学校の部活動に係る活動方針」を基に作成

運動部・文化部別

運動部

「毎週活動」の回答が **81%** で**最も多い**。

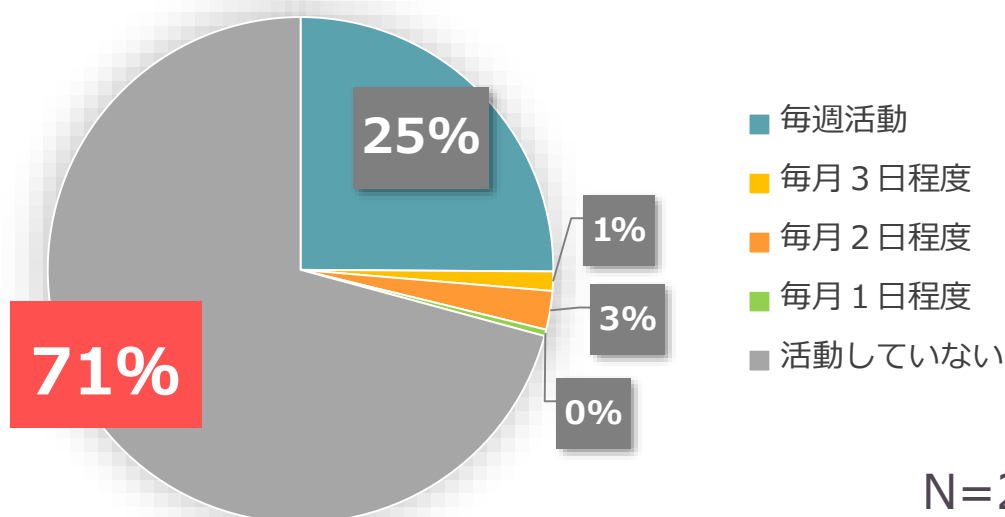


N=402

※運動部に所属する生徒の回答を集計

文化部

「活動していない」の回答が **71%** で**最も多い**。



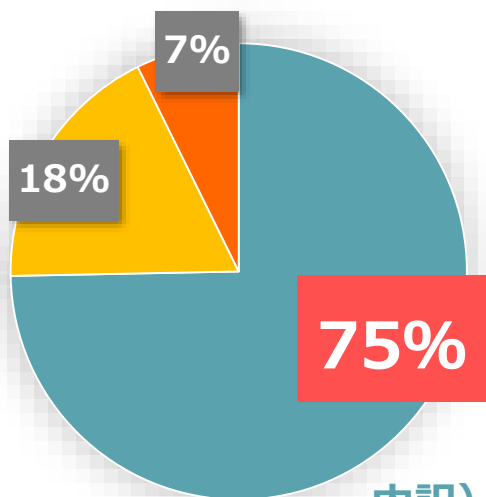
N=243

※文化部に所属する生徒の回答を集計

5 活動日数・時間について

- ▶活動日数・時間については、「ちょうど良い」と回答した生徒が **75%** で**最も多い**。
- ▶「多すぎる(長すぎる)」と回答した生徒は運動部に多く、「少なすぎる(短すぎる)」と回答した生徒は文化部に多い。**運動部と文化部で傾向が異なる**。

活動日数・時間について



- ちょうど良い
- 多すぎる(長すぎる)
- 少なすぎる(短すぎる)

N=645

※部活動に所属する生徒の回答を集計

内訳) 所属別回答者数

単位: 人

	運動部	文化部
ちょうど良い	296	186
多すぎる(長すぎる)	89	27
少なすぎる(短すぎる)	17	30

参考

活動時間の設定基準

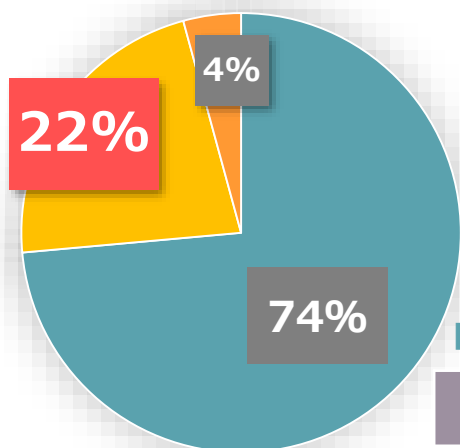
部活動の在り方に関する方針(平成31年4月1日 福生市教育委員会)

- 1 1日の活動時間は、長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日(祝日等を含む)及び長期休業中は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

運動部・文化部別

運動部

「多すぎる(長すぎる)」の回答が**全体と比較して多い**。



- ちょうど良い
- 多すぎる(長すぎる)
- 少なすぎる(短すぎる)

N=402

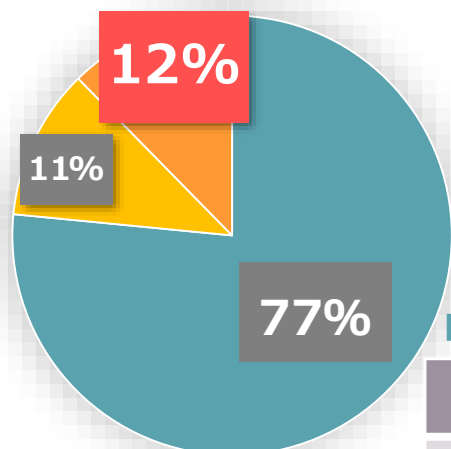
※運動部に所属する生徒の回答を集計

内訳) 活動日数別回答者数 単位:人

	5日	4日	3日	2日以下
ちょうど良い	221	51	15	9
多すぎる(長すぎる)	82	3	0	4
少なすぎる(短すぎる)	12	2	2	1

文化部

「少なすぎる(短すぎる)」の回答が**全体と比較して多い**。



- ちょうど良い
- 多すぎる(長すぎる)
- 少なすぎる(短すぎる)

N=243

※文化部に所属する生徒の回答を集計

内訳) 活動日数別回答者数 単位:人

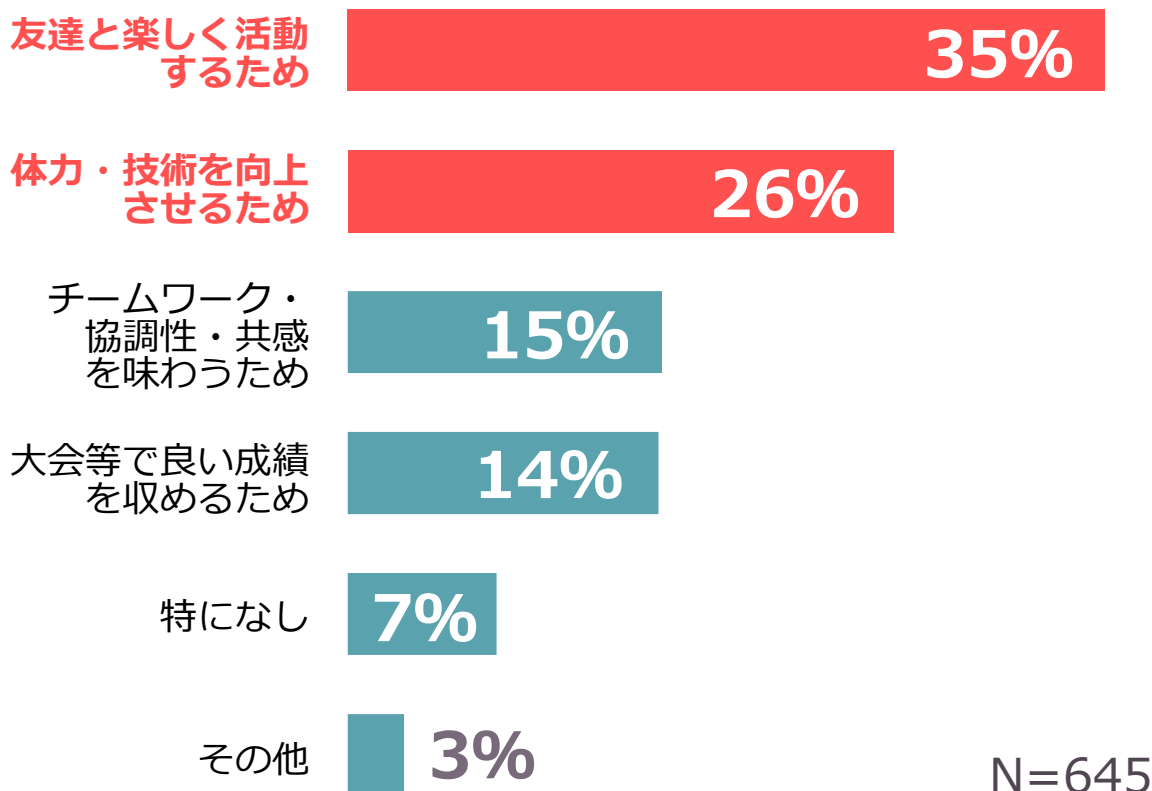
	5日	4日	3日	2日以下
ちょうど良い	30	13	2	141
多すぎる(長すぎる)	22	0	0	5
少なすぎる(短すぎる)	7	1	0	22

6

部活動に所属する
最大の目的

- ▶ 「友達と楽しく活動するため」と回答した生徒が、**35%**と最も多い。
- ▶ 運動部では、「体力・技術を向上させるため」と回答した生徒が最も多い。

部活動に所属する最大の目的



※部活動に所属する生徒の回答を集計

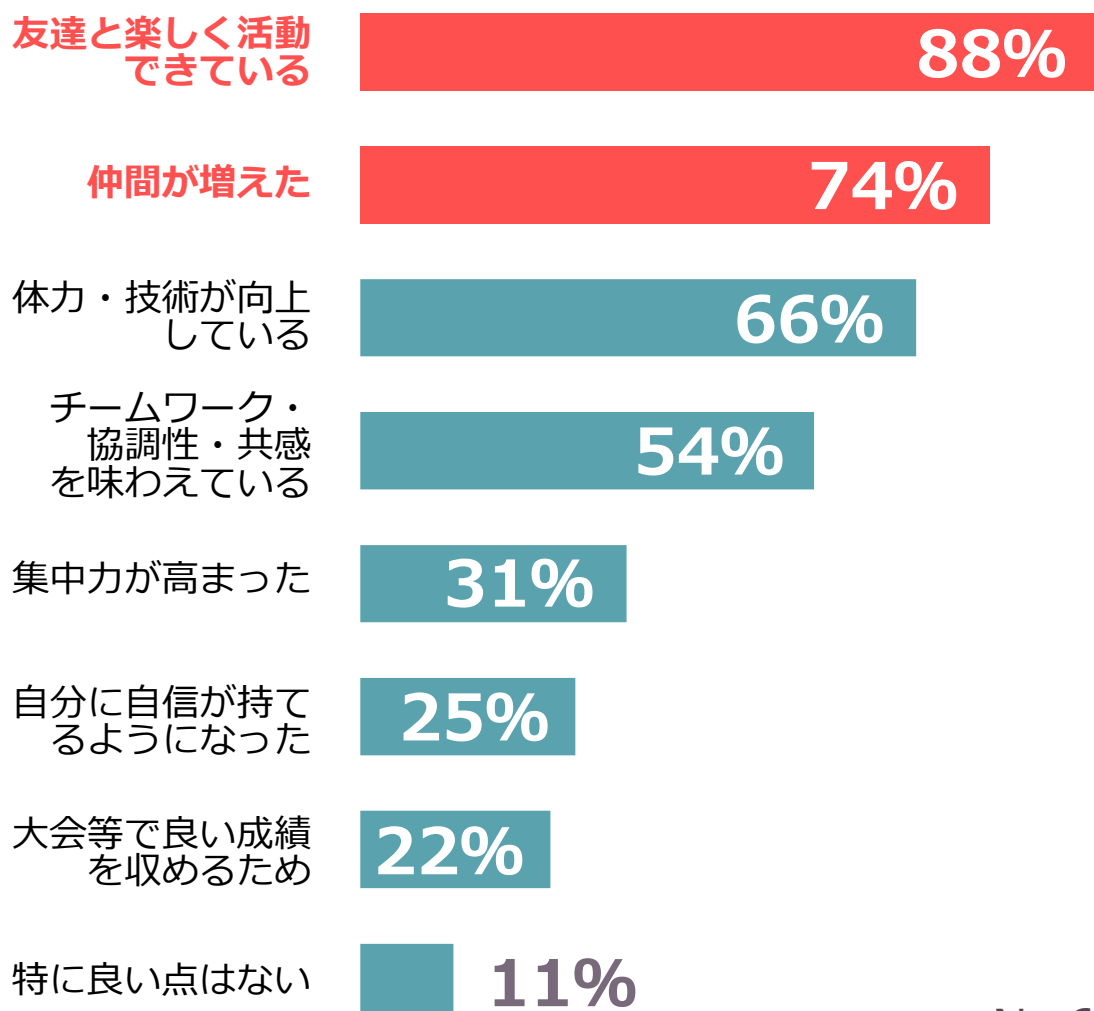
その他の回答

- 競技や活動そのものが好き（7件）
- 保護者の勧め（3件）
- 運動する必要があるため（2件）
- 先輩に会うため（1件）
- 暇だから（1件）

7

部活動を行っていて
良いと思う点

「友達と楽しく活動できている」、「仲間が増えた」と回答した生徒が多く、部活動が生徒の人間関係の構築に関与していることが伺える。

部活動を行っていて良いと思う点
【複数回答】

N=645

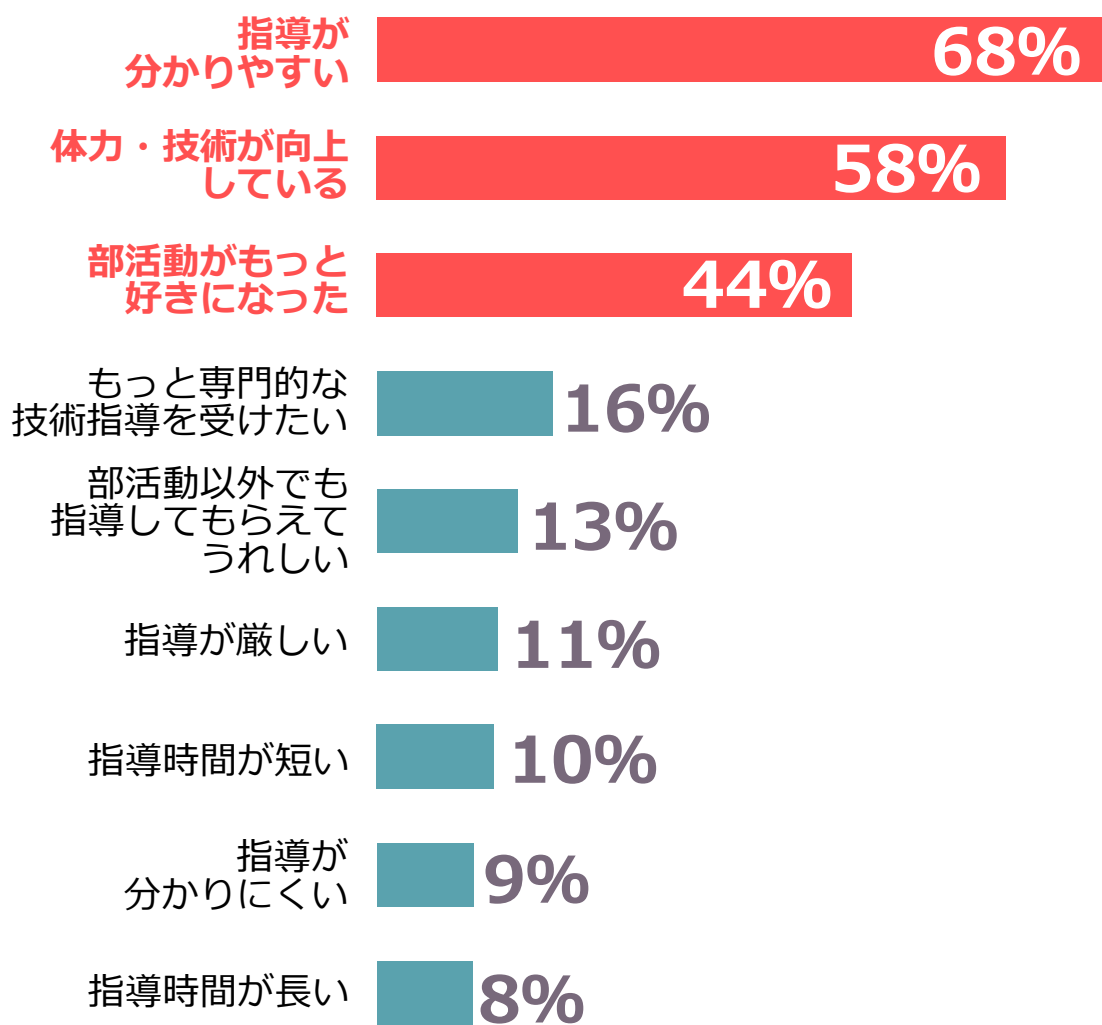
※部活動に所属する生徒の回答を集計

8

所属する顧問・指導者の指導について

- ▶所属する顧問・指導者の指導については、**肯定的な回答が多く**を占めている。
- ▶肯定的な回答が多い一方で、「**もっと専門的な指導を受けたい**」と感じている生徒もいる。

所属する顧問・指導者の指導について



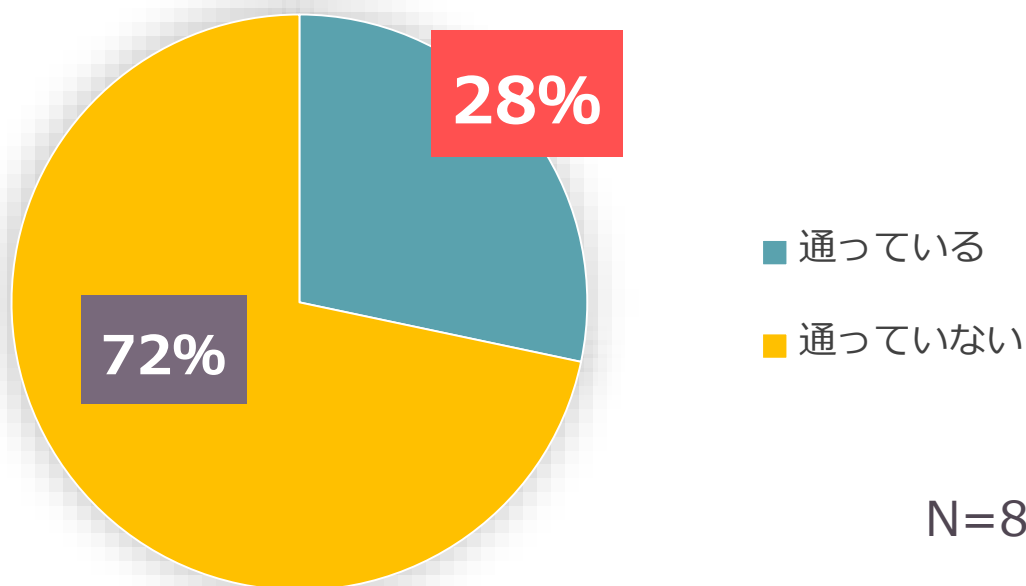
N=645

※部活動に所属する生徒の回答を集計

9

部活動以外に通っている
地域クラブ等

- ▶ 回答した生徒の **28%** が地域クラブ等に通っている。
- ▶ **部活動に所属していない生徒の 57%** が地域クラブ等に通っており、全体と比較して地域クラブ等に通っている生徒の割合が高い。

部活動以外の地域クラブ等に通っている
生徒の状況

内訳) 回答者の所属別回答状況

単位：人

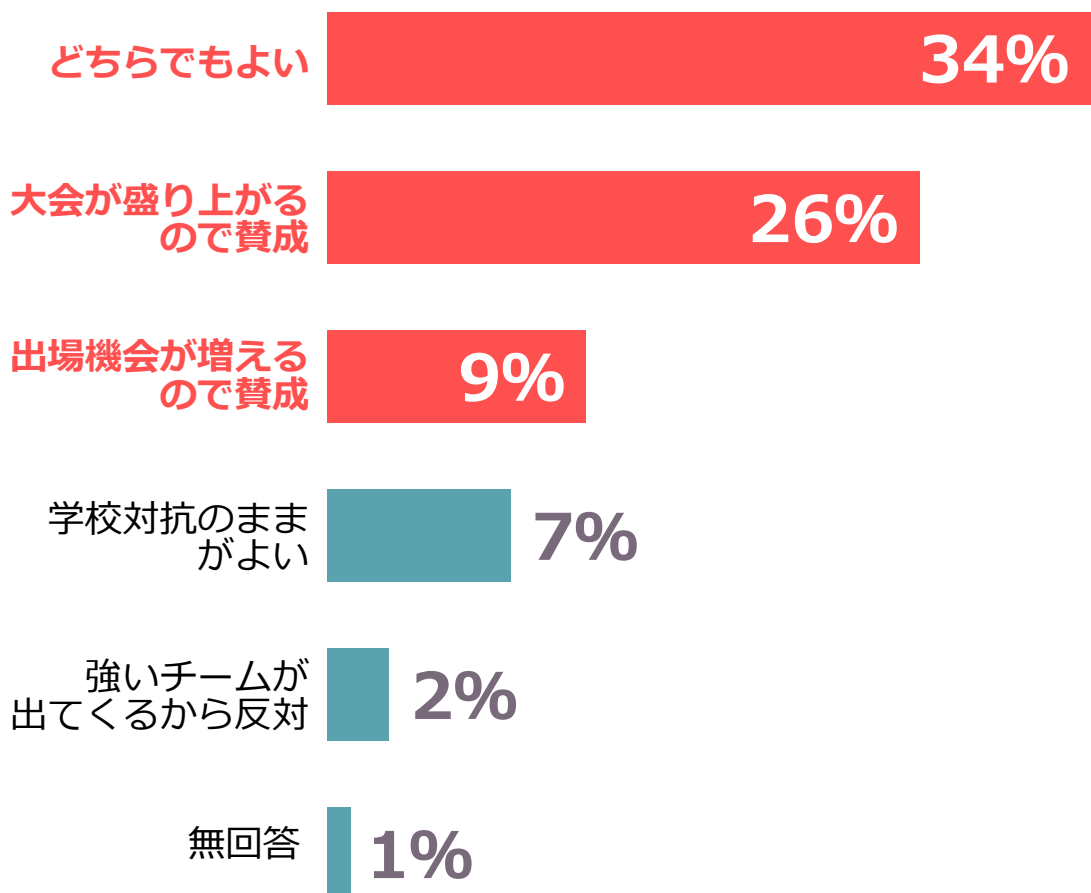
	運動部	文化部	無所属
通っている	88 (22%)	42 (17%)	105 (57%)
通っていない	314 (78%)	201 (83%)	80 (43%)

※ () 内の割合は所属別母集団に占める回答者の割合を表す

10 地域クラブの大会参加

- ▶ 「どちらでもよい」と回答した生徒が **34%** で **最も多い**。
- ▶ 生徒の回答結果では、**賛成意見が反対意見を上回っている**。

部活動が参加する大会に 地域クラブが参加することについて



N=402

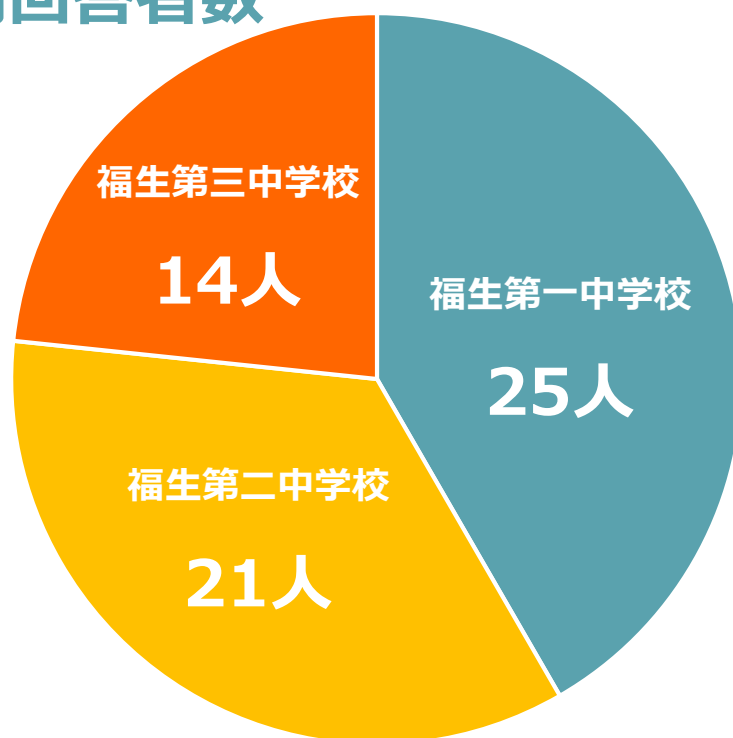
※運動部に所属する生徒の回答のみ集計

1 調査の概要

実施時期	令和5年7月
実施方法	WEBによるアンケート調査（質問紙法）
実施対象	福生市立中学校 全生徒
総回答数	60件（回収率72%）

※調査項目については24・25ページ参照

所属別回答者数



N=60

内訳) 教員歴別回答者数

単位：人

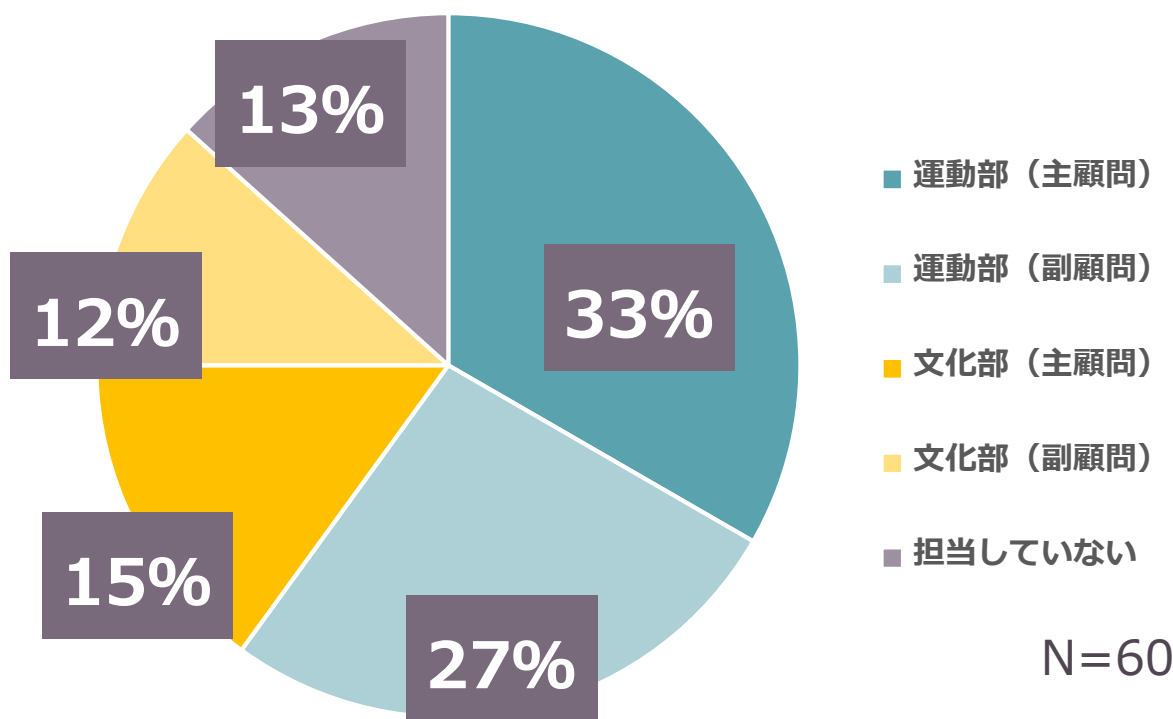
	1年～ 3年	4年～ 8年	9年～ 10年	11年～ 20年	21年 以上
福生第一中学校	6	5	1	5	8
福生第二中学校	4	4	2	6	5
福生第三中学校	3	1	1	4	5

2

部活動の担当状況

- ▶ 運動部顧問は、教員歴 **8年目まで** の教員が多い。
- ▶ 文化部顧問は、教員歴 **11年目以上** の教員が多い。
- ▶ 部活動を担当していない教員は、
教員歴 **21年目以上** の教員が多い。

部活動顧問の担当状況



内訳) 経験年数別担当者数

単位：人

	1年～ 3年	4年～ 8年	9年～ 10年	11年～ 20年	21年 以上
運動部（主・副）	10	7	4	9	6
文化部（主・副）	2	2	0	6	6
担当していない	1	1	0	0	6

参考

設置部活動一覧（令和5年度）

	運動部	文化部
福生第一中学校	男子バスケットボール部 女子バスケットボール部 野球部（※3校合同） 女子ソフトボール部 男子ソフトテニス部 女子ソフトテニス部 トレーニング部 剣道部 陸上部 サッカー部（※2校合同） 女子バレーボール部	吹奏楽部 科学部 美術部 箏曲部 家庭科部
福生第二中学校	男子バスケットボール部 女子バスケットボール部 野球部（※3校合同） 男子ソフトテニス部 剣道部 陸上部 サッカー部（※2校合同） 女子バレーボール部	吹奏楽部 園芸部 美術部 ものづくり部 アットホーム部
福生第三中学校	男子バスケットボール部 女子バスケットボール部 野球部（※3校合同） 剣道部 バレーボール部 バドミントン部	吹奏楽部 家庭科部

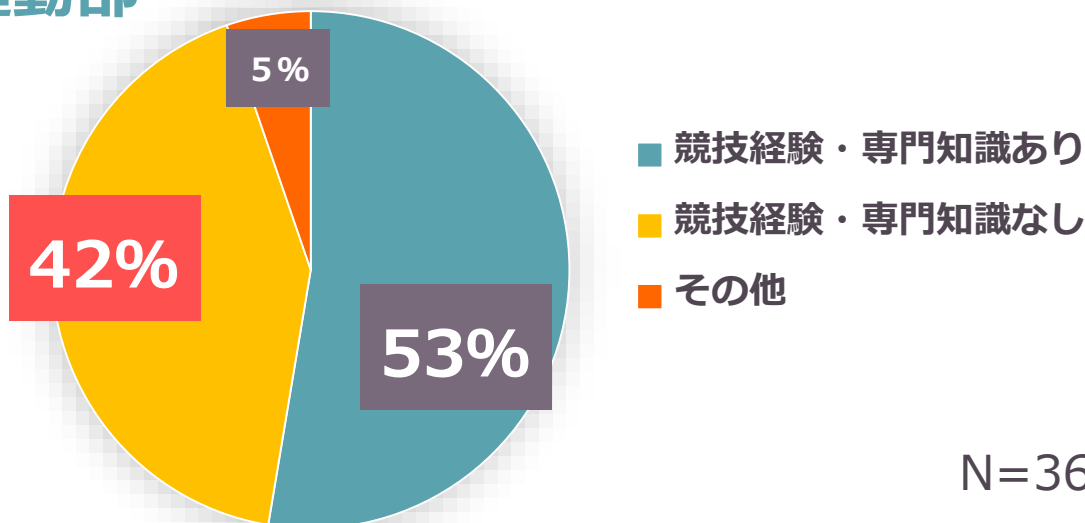
「令和5年度 学校の部活動に係る活動方針」を基に作成

3

競技経験・専門知識

担当する部活動の競技経験・専門知識がない教員が
約40% いる。

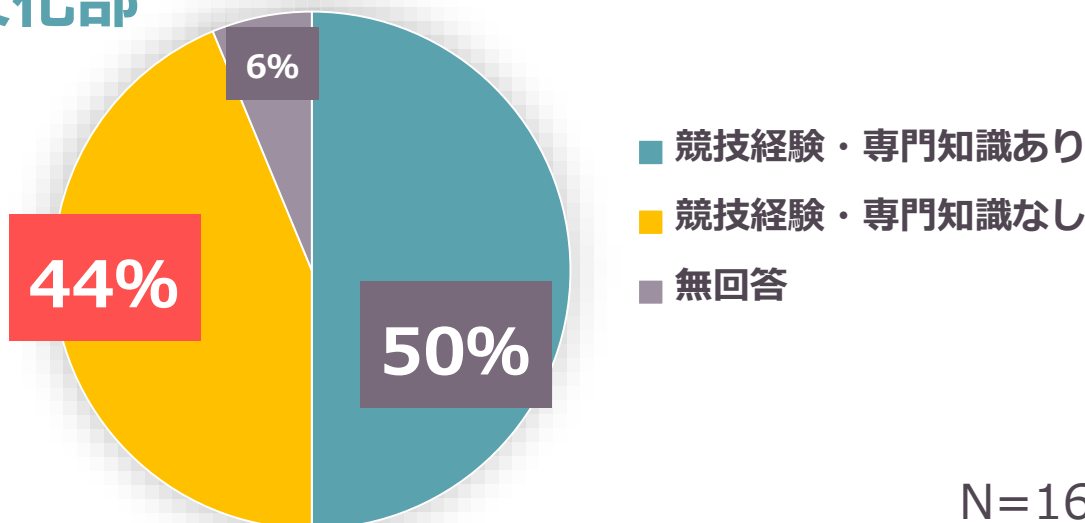
運動部



その他の回答

- 競技経験・専門知識のある部活動もあるが、現在は担当していない。(1件)
- 競技経験はあるが、専門知識はない。(1件)

文化部

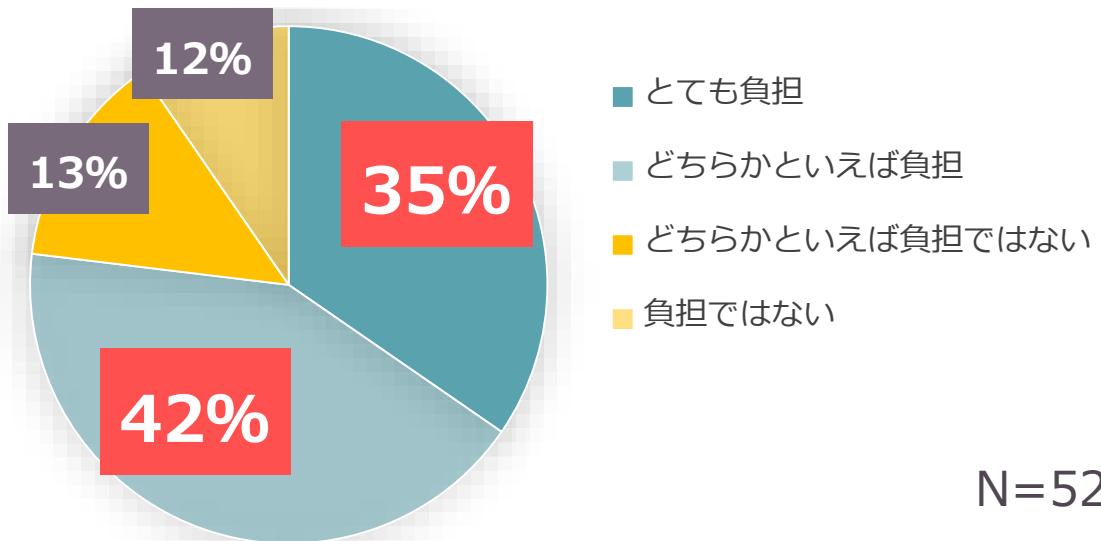


4

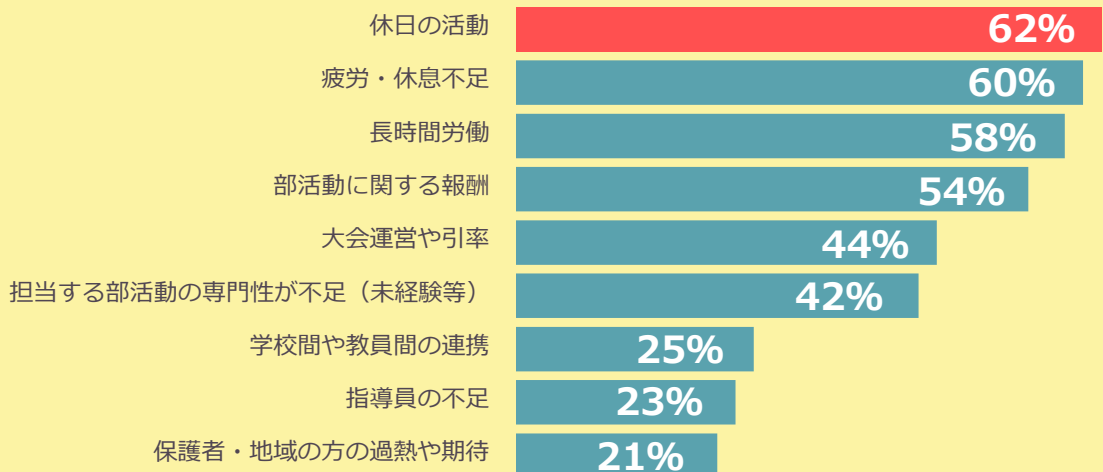
部活動指導の負担感

- ▶ 部活動を担当している **77%** の教員が部活動指導を負担と感じている。
- ▶ 「**休日の活動**」を負担と感じている教員が最も多い。

部活動の負担感



負担である理由（複数回答）

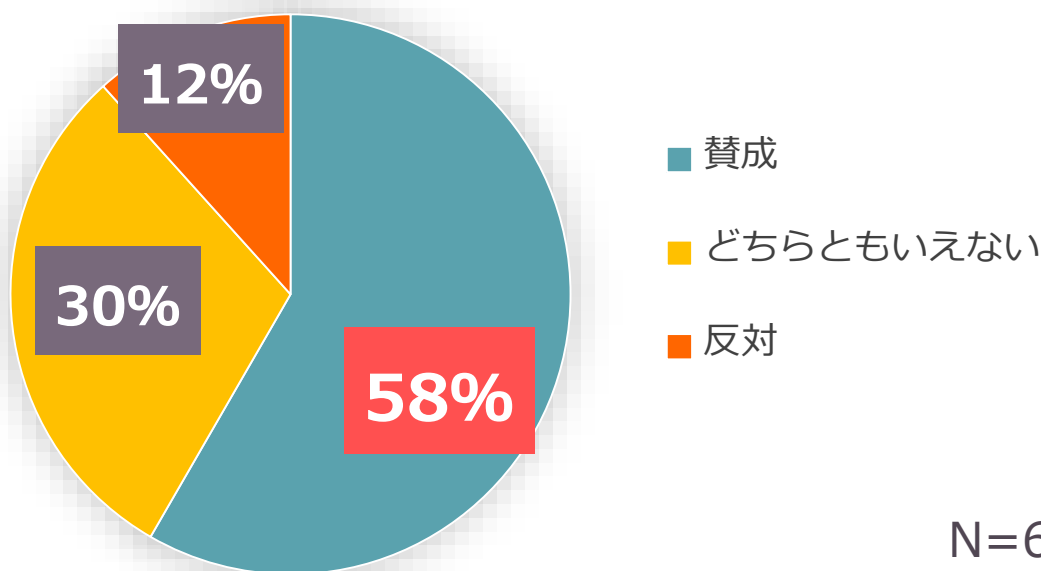


5

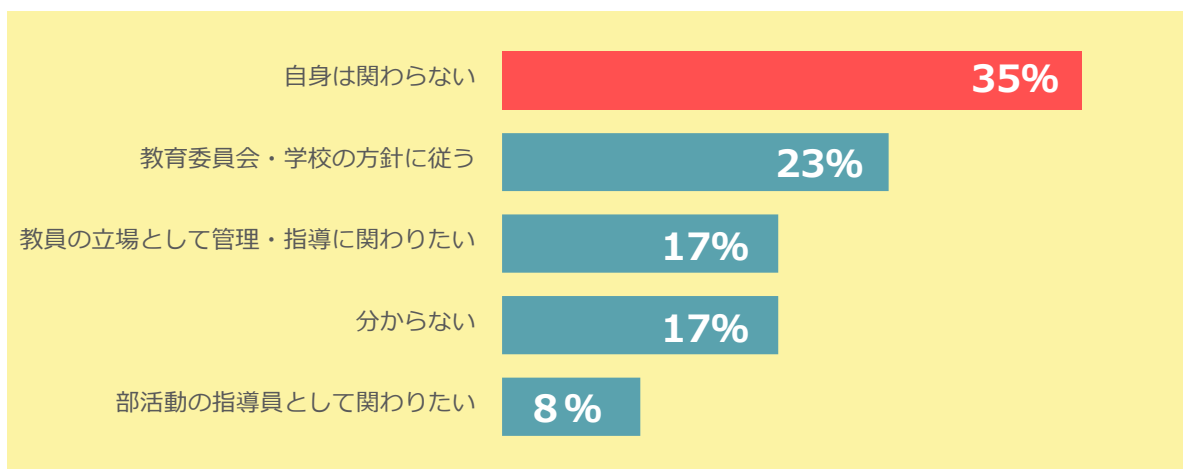
部活動地域連携・地域移行
賛成 or 反対

- ▶教員の **58%** が **賛成** と回答している。
- ▶地域連携・地域移行実施後の自身の希望する役割については、「**自身は関わらない**」と回答した教員が最も多い。

部活動の地域連携・地域移行について



地域連携・地域移行実施後の自身の希望する役割



賛成意見

58%

【教員の負担軽減】

- 部活動の引率・指導を行うことによって、日々の校務が疎かになっている現状がある。
- 部活によって負担の具合に違いがある。
- 部活をやりたいと感じていない教員にとっては負担である。
- 休日出勤や時間外労働は厳しい。

【教員の処遇改善】

- 専門知識や情熱のある教員が監督やコーチとして、学校業務に支障の出ない範囲で正当な報酬を得た上で、チーム運営や技術指導に関わることができることが望ましい。

【専門性の高い指導】

- 専門性の高い人に指導してもらう方が子供のためになる。
- 保護者や生徒のニーズに、専門性のない教員が応えられない。
- 専門性があり競技の指導に熱意を持つ指導者であれば教員でなくても生徒を指導できる。

【地域の連携強化】

- 市の各競技連盟と連携して、市内の小中学生の指導にあたるようになれば、市の競技力向上につながる。
- 地域連携・地域移行を進め、拠点校方式や地域クラブ等によって、市内の中学校で部員を募集できるようになれば部員不足が解消し、活動が活性化する。

反対意見

12%

【教育活動としての部活動】

- 部活動は教育活動の一環であり、専門性があるだけでは生徒を教育することはできない。
- 普段見られない生徒の活躍や課題を、担任と顧問が共有し指導できることが部活動の意義だと思う。
- 部活動でしか見られない子供の姿もあると思う。部活動を通しての子供と教員の関わりがなくなることは寂しく思う。

【生活指導の側面】

- 部活動における生活指導や教育支援は必要不可欠であり、地域移行によって、課題を抱える生徒の改善機会を奪う結果になりかねない。地域移行ではなく、「教員が負担感をあまり感じずに部活動ができる環境」を整える方が、福生の子供たちの現状に合っている。
- 学校の生活指導の一環と考える。教員とのつながりで学校生活がうまくいっているケースが多い。本人の状態も素早くキャッチできる。

【環境面】

- 吹奏楽部は施設や部品が多く無理があると思う。
- 学校外部の人とのやりとりが負担である。

【生徒対象】調査項目

※調査の概要は1ページ参照

- 1 学校を選択してください。
 - 福生第一中学校
 - 福生第二中学校
 - 福生第三中学校

- 2 学年を選択してください。
 - 第1学年
 - 第2学年
 - 第3学年

- 3 部活動の所属について当てはまるものを選択してください。
 - 運動部所属
 - 文化部所属
 - 部活動に所属していない

- 4 部活動に所属する最大の目的について当てはまるものを選択してください。
 - 大会等で良い成績を収めるため
 - チームワーク・協調性・共感を味わうため
 - 体力・技術を向上させるため
 - 友達と楽しく活動するため
 - 特になし
 - その他

- 5 1週間の活動日数（休日含む）について当てはまるものを選択してください。
 - 5日
 - 4日
 - 3日
 - 2日以下

- 6 活動日数・時間について適切かどうか当てはまるものを選択してください。
 - ちょうど良い
 - 多すぎる（長すぎる）
 - 少なすぎる（短すぎる）

- 7 休日の活動について当てはまるものを選択してください。
 - 毎週活動
 - 毎月3日程度
 - 毎月2日程度
 - 毎月1日程度
 - 活動していない

- 8 あなたの所属する部活動顧問や指導者からの指導について当てはまるものを選択してください。【複数回答可】
- 指導が分かりやすい
 - 体力・技術が向上している
 - 部活動がもっと好きになった
 - 部活動以外でも指導してもらえてうれしい
 - もっと専門的な技術指導を受けたい
 - 指導時間が短い
 - 指導が厳しい
 - 指導時間が長い
 - 指導が分かりにくい
 - その他
- 9 部活動以外に地域のスポーツクラブや胸式に通っているかどうか当てはまるものを選択してください。
- 通っている
 - 通っていない
- 10 部活動を行っていて良いと思う点について当てはまるものを選択してください。【複数回答可】
- 友達と楽しく活動できている
 - 仲間が増えた
 - 体力・技術が向上している
 - チームワーク・協調性・共感を味わえている
 - 大会等で良い成績を収められた
 - 集中力が高まった
 - 自分に自信が持てるようになった
 - 特に良い点はない
- 11 部活動が参加する大会に地域のクラブが参加していることについて当てはまるものを選択してください。（運動部所属生徒のみ回答してください。）
- 大会が盛り上がるので賛成
 - 出場機会が増えるので賛成
 - 強いチームが出てくるから反対
 - 学校対抗のままが良い
 - どちらでも良い

【教員対象】 調査項目

※調査の概要は15ページ参照

- 1 所属を選択してください。
 - 福生第一中学校
 - 福生第二中学校
 - 福生第三中学校

- 2 職層を選択してください。
 - 主幹教諭
 - 指導教諭
 - 主任教諭（主任養護教諭）
 - 教諭（養護教諭）

- 3 教員歴（年数）を選択してください。
 - 1～3年
 - 4～8年
 - 9～10年
 - 11～20年
 - 21年以上

- 4 現勤務校在籍歴（年数）を選択してください。
 - 1年
 - 2年
 - 3年
 - 4年
 - 5年
 - 6年
 - 7年以上

- 5 部活動の担当を選択してください。
 - 運動部（主顧問）
 - 運動部（副顧問）
 - 文化部（主顧問）
 - 文化部（副顧問）
 - 担当していない

- 6 担当する部活動名を記入してください。
（部活動を担当していない場合は回答不要です。）

- 7 担当部活動の競技経験・専門知識について当てはまるものを選択してください。
（部活動を担当していない場合は回答不要です。）
 - 競技経験・専門知識がある
 - 競技経験・専門知識がない
 - その他

- 8 部活動の負担感について当てはまるものを選択してください。
(部活動を担当していない場合は回答不要です。)
- とても負担
 - どちらかといえば負担
 - どちらかといえば負担ではない
 - 負担ではない
- 9 部活動が負担である理由について当てはまるものを選択してください。
【複数回答可】(部活動を担当していない場合は回答不要です。)
- 疲労・休息不足
 - 休日の活動
 - 長時間労働
 - 指導員の不足
 - 部活動に関する報酬
 - 保護者・地域の方の過熱や期待
 - 学校間や教員間の連携
 - 担当する部活動の専門性が不足(未経験)
 - 大会運営や引率
- 10 部活動の地域連携・地域移行についての【賛成】又は【反対】の有無について当てはまるものを選択してください。
- 賛成
 - 反対
 - どちらとも言えない
- 11 部活動の地域連携・地域移行についての【賛成】又は【反対】の理由をお聞かせください。
- 12 部活動の地域連携・地域移行を実施する場合の自身の希望する役割について当てはまるものを選択してください。
- 自身は関わらない
 - 部活動の指導員として関わりたい
 - 教員の立場として管理・指導に関わりたい
 - 教育委員会・学校の方針に沿って従いたい
 - 分からない

部活動の地域連携・地域移行に係る連絡会 委員名簿

	氏名	所属等
1	沼田 博明	福生市立福生第一中学校校長 [～令和5年9月15日]
2	金子 敏治	福生市立福生第一中学校校長 [令和5年9月16日～]
3	森保 亮	福生市立福生第二中学校校長
4	植村 多岐	福生市立福生第三中学校校長
5	勝山 朗	福生市教育委員会教育部参事兼教育指導課長事務取扱
6	大楠 功晃	福生市教育委員会教育部教育総務課長
7	吉本 一也	福生市教育委員会教育部主幹（統括指導主事）
8	菱山 栄三郎	福生市教育委員会教育部生涯学習推進課長
9	近野 淳	福生市教育委員会教育部スポーツ推進課長
10	佐藤 克年	福生市公民館長
11	竹内 秀礼	福生市教育委員会教育部教育指導課指導主事
12	小田川 直樹	福生市教育委員会教育部教育指導課指導係長

なお、福生市教育委員会事務局においては、次の者が本報告書の作成に当たった。

参事兼教育指導課長事務取扱	勝山 朗
主幹（統括指導主事）	吉本 一也
指導主事	竹内 秀礼
指導主事	東小川 智史
指導主事	田畑 圭洋
指導係長	小田川 直樹

**部活動の地域連携・地域移行に関する
意識調査報告書**

令和5年9月

編集・発行 福生市教育委員会教育部教育指導課
所在地 東京都福生市本町5番地
電話番号 042-551-1538

